



# 図書館 めくるくん通信

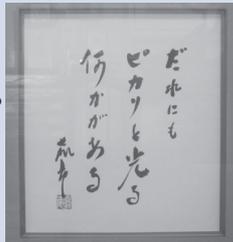
図書館 ☎ 69・3706

## 図書館へ行こう

◆特別コレクション 金沢ヒューマン文庫  
金沢ヒューマン文庫は「人間にくずはない」、「だれにもピカリと光る何かがある」、「それを見つけだし、磨きをかけ伸ばすのが教育だ」という教育信条のもと、子どもの人権を尊重し教育実践した金沢嘉市の著書、蔵書、各種資料約2,500点が、郷里の蒲郡市に寄贈され開設されたものです。各種資料の利用は図書館受付へどうぞ♪

### ★金沢嘉市 (かなざわかいち)

明治41年現平田町生まれ。東部小学校、蒲郡農学校(現蒲郡高校)出身。元小学校教師。現役引退後も教育評論家として幅広く活躍した。



## 図書館に入った本

毎月1,000冊以上の本が入ります。  
一部をご紹介します♪

- 『花嫁をガードせよ!』  
赤川 次郎/著 実業之日本社  
『私の漂流記』  
曾野 綾子/著 河出書房新社
- 『「残業しないチーム」と「残業だらけチーム」の習慣』  
石川 和男/著 明日香出版社
- 『医師がすすめる「おふとんヨガ」』  
橋本 和哉/著 マキノ出版  
『美髪はよみがえる』  
山田 佳弘/著 光文社
- 『食材3つで簡単ごちそう小鍋』  
ワタナベ マキ/著 宝島社  
『ぜんぶもやしレシピ』  
きじまりゅうた/著 世界文化社
- 『安室奈美恵超歌姫伝説』  
アムラーウォッチャー編集部/著 辰巳出版

貸出中の場合もありますので、本が見当たらない時は  
お気軽に職員にお尋ねください。



# 読む

# 水族館



館長 小林龍二

竹島水族館  
☎ 68・2059

## 水槽を作るヒント

### ■ダイビングの経験

初めてダイビングをしたのは小笠原の海だった。そこが初めてだったので自分ではよく分からなかったが、大体の人は練習プールか伊豆が沖縄、よくてバリ島などが初ダイビングらしく、海中ではシマシマ魚や蛍光ブルーの小魚がおなじみの風景で出迎えてくれる。小笠原は特殊な海域でそこにはやはり特殊で独特な魚がいてアキレスタンとかユウゼンだとかいう魚があまり歓迎的態度ではなく、困るんだ

よね、という目をして私から一定の距離を置いて肅々と泳いでいた。それが初心者のかせにゼータクな環境らしい。初心者だからシマシマとかキラキラの子魚のところで感激しないとダメらしい。例えるなら名古屋駅前と蒲郡駅前のくわからん例えかな。  
2回目は石垣島で潜った。この時はなぜか「魚たちの水中世界にロボットの装備で入っていく陸上のオロカモノ」という自虐的感覚に襲われ、若干パニックになりかけた。水中というのはお魚さんたちが天

下の場所で普段風呂ぐらいでしか水につからない生き物が図々しく入ってはならんのだな、ということをやや感じた。  
そのあと場所移動をして、おもちゃ箱をひっくり返したようなカラフルなサンゴとおびただしい蛍光色の魚の群れの中でブカブカ浮く、というコースも体験してこちらは単純に楽しかった。  
■自然が先生  
元旦にリニューアルした竹島水族館の水槽は深海の水槽が主ですがサンゴの水槽もいくつもリニューアルして、水槽内の装飾はすべて私が担当しました。小笠原と石垣島で見て目に焼き付いた水中風景を参考に設計しました。

以前から私は水槽内装飾は自然をそのまま切り取って再現してもうまくいかない、自然には勝てない、ということをして他の立派な水族館を多く視察して自慢される日々の中で冷静に見破っておったのだ。見て来た自然の風景を凝縮して想像を膨らませた中で表現化して世界観を出すのがポイントとなる。エラそうに難しいことを述べておりますがこれができれば苦労ない。  
今回作った水槽では上からでも横からでも見て楽しめる水槽や、水槽内でうまく魚が上と下に種類別に分かれて暮らしていたり、光と影や色を使った錯覚を取り入れたりして工夫や仕組みを盛り込んで結構うまく魚たちの世界を表現できました。大本のお手本は実際の自然。自然に出て自分で自然を見ない魚たちもお客さんも楽しめる水槽は作れません。